

## 令和5年度

# 大分県森林環境税に関する、県政モニター調査結果

### (調査目的)

県森林環境税について県民意見を聴取し、今後の施策の参考とする。

### (調査概要)

①調査対象：県政モニター（110名）

②調査方法：県政モニターあてアンケート

郵送・・・郵送にて送付、返送

メール・・・メールによるアンケート用紙送付、返信

簡易申請・・・簡易申請システムによる入力、データ出力

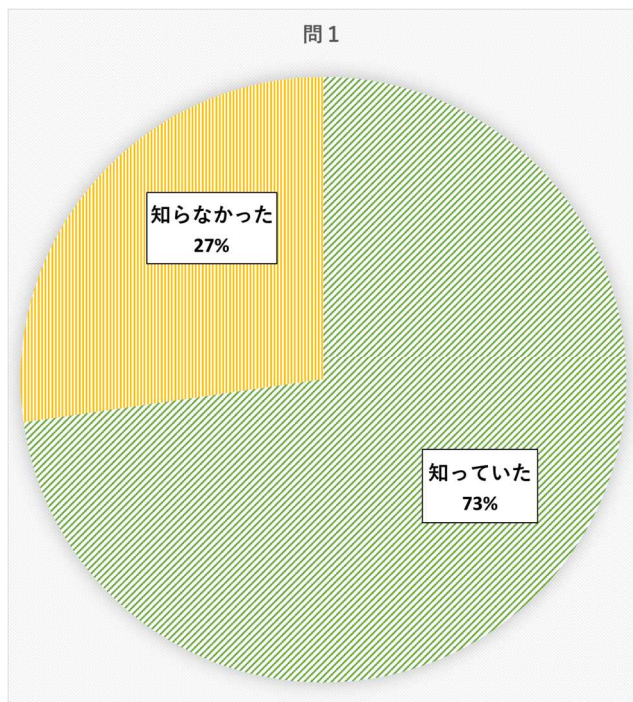
③調査時期：令和5年8月

④回答者数：66名（回答率60%）

問1

大分県内の森林の一部では、森林の手入れ不足により、森林の水源かん養、土砂流出や山腹崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能が低下している事例があります。

こうした森林の現状をご存じでしたか？

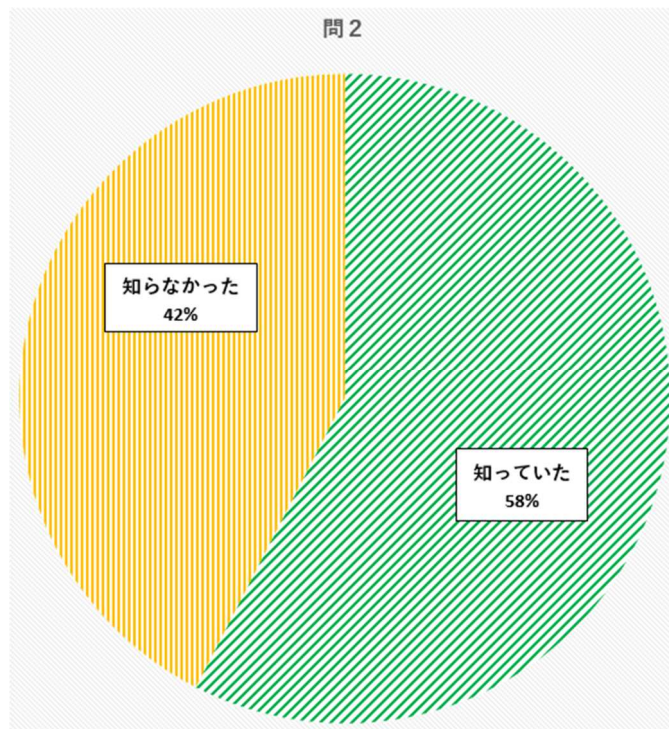


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	48	18	66
割合 (%)	73	27	100

問2

大分県では、「県民の理解と協力のもと、森林環境を保全し、すべての県民が森林を守り育てる意識を醸成する」ことを目的として、平成18年度から森林環境税を導入していることをご存じでしたか？

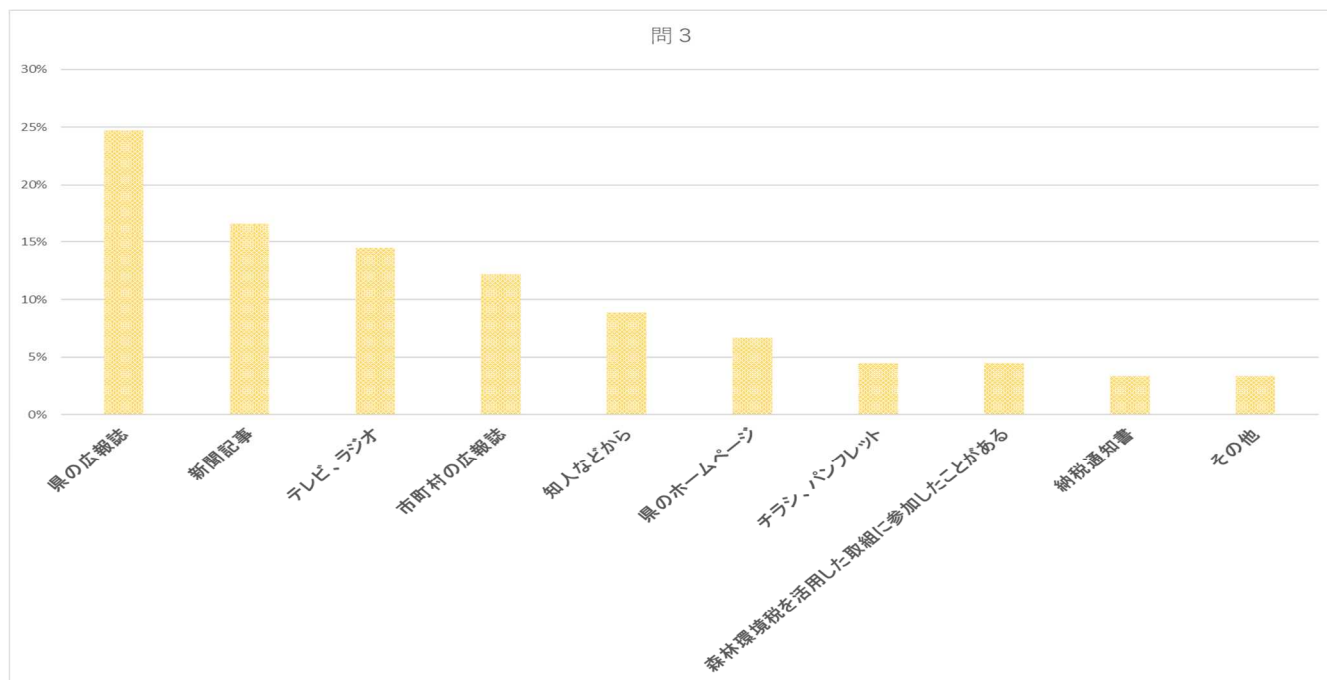


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	38	28	66
割合 (%)	58	42	100

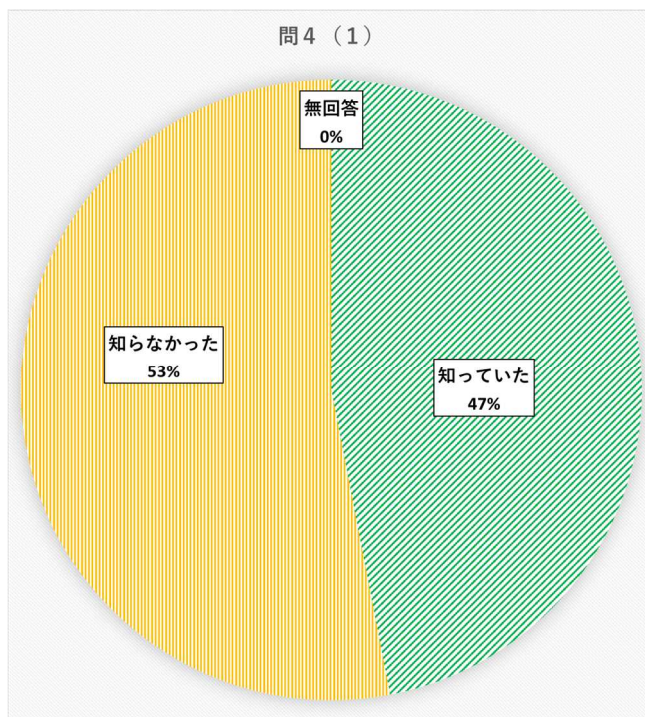
問3 問2で①「知っていた」とお答えいただいた方について、県森林環境税を、なにでお知りになりましたか？（複数回答可）

(件)



問4- (1)

県森林環境税として、個人から年間500円（個人県民税均等割額に加算）納めていただいていることをご存じでしたか？

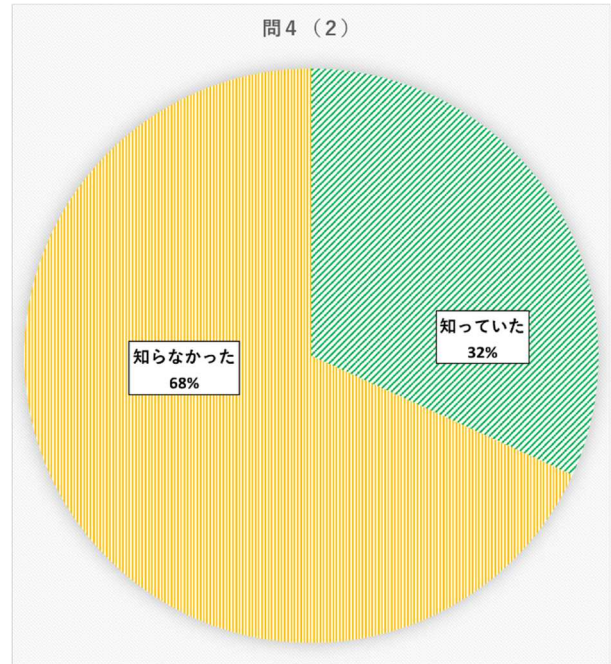


※未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	31	35	66
割合 (%)	47	53	100

問4－（2）

県森林環境税として、法人（企業）から法人県民税の5%（年間1,000円～40,000円）を納めていただいていることをご存じでしたか？

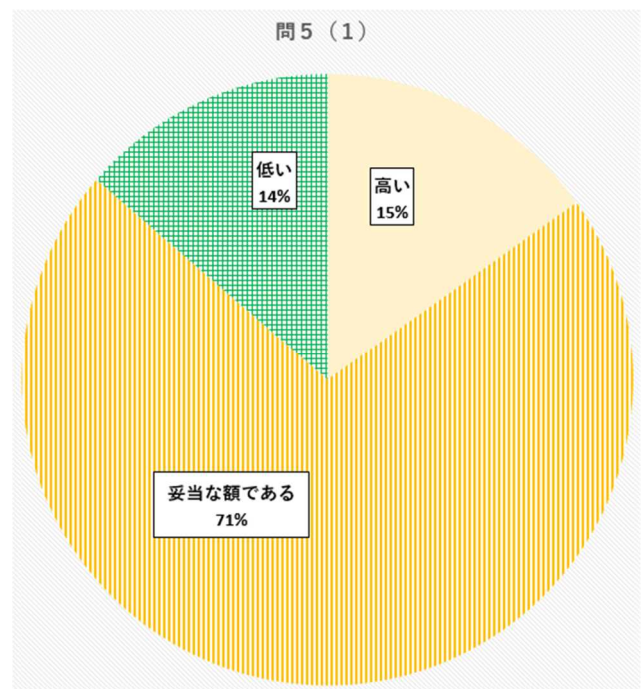


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数（人）	21	45	66
割合（%）	32	68	100

問5－（1）

県森林環境税のうち、個人からの年間500円についてどのように感じますか？



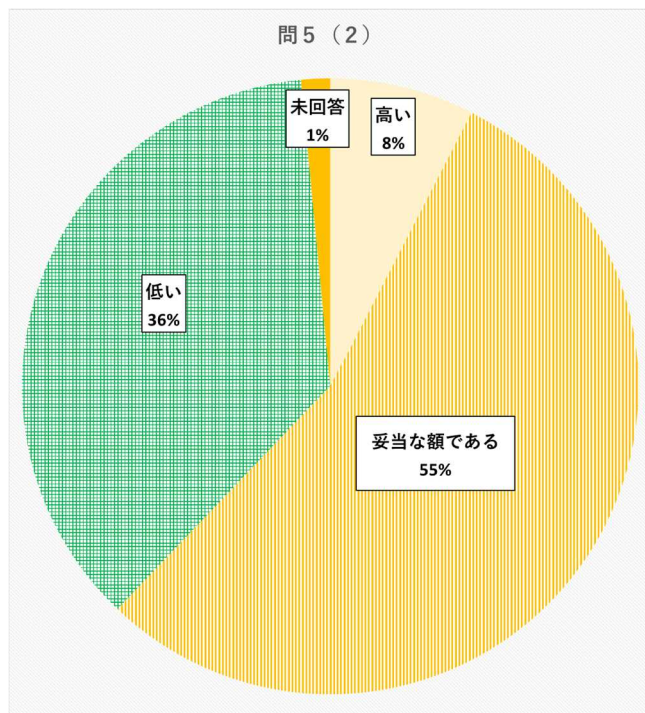
※ 未回答 0件

	高い	妥当な額	低い	計
回答数（人）	10	47	9	66
割合（%）	15	71	14	100



問5－(2)

県森林環境税のうち、法人（企業）からの年間1,000円～40,000円についてどのように感じますか

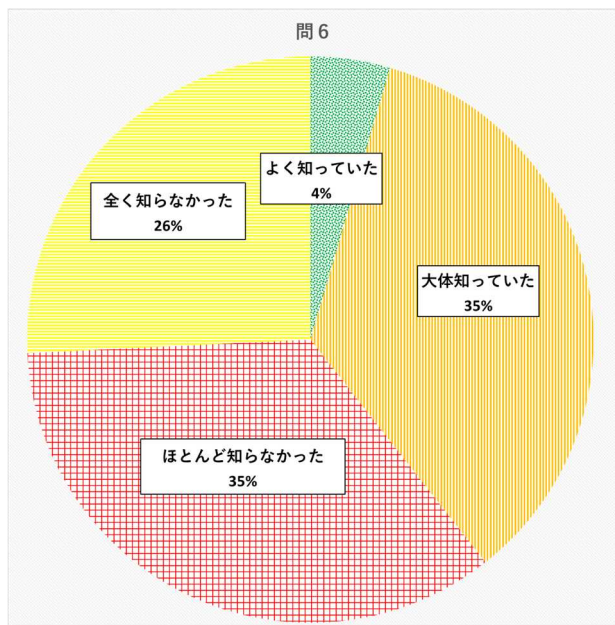


※ 未回答 1件 (1%)

	高い	妥当な額	低い	計
回答数 (人)	5	36	24	65
割合 (%)	8	55	36	99

問6

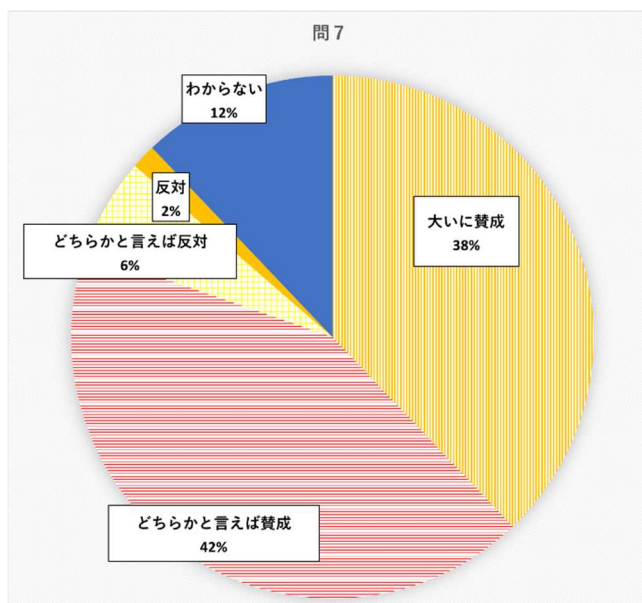
県森林環境税を活用した事業をご存じでしたか？



※ 未回答 0件

	よく知っていた	大体知っていた	ほとんど知らなかった	全く知らなかった	計
回答数 (人)	3	23	23	17	66
割合 (%)	4	35	35	26	100

問7 県森林環境税を活用した事業について、全体としての評価をどのようにお考えですか？

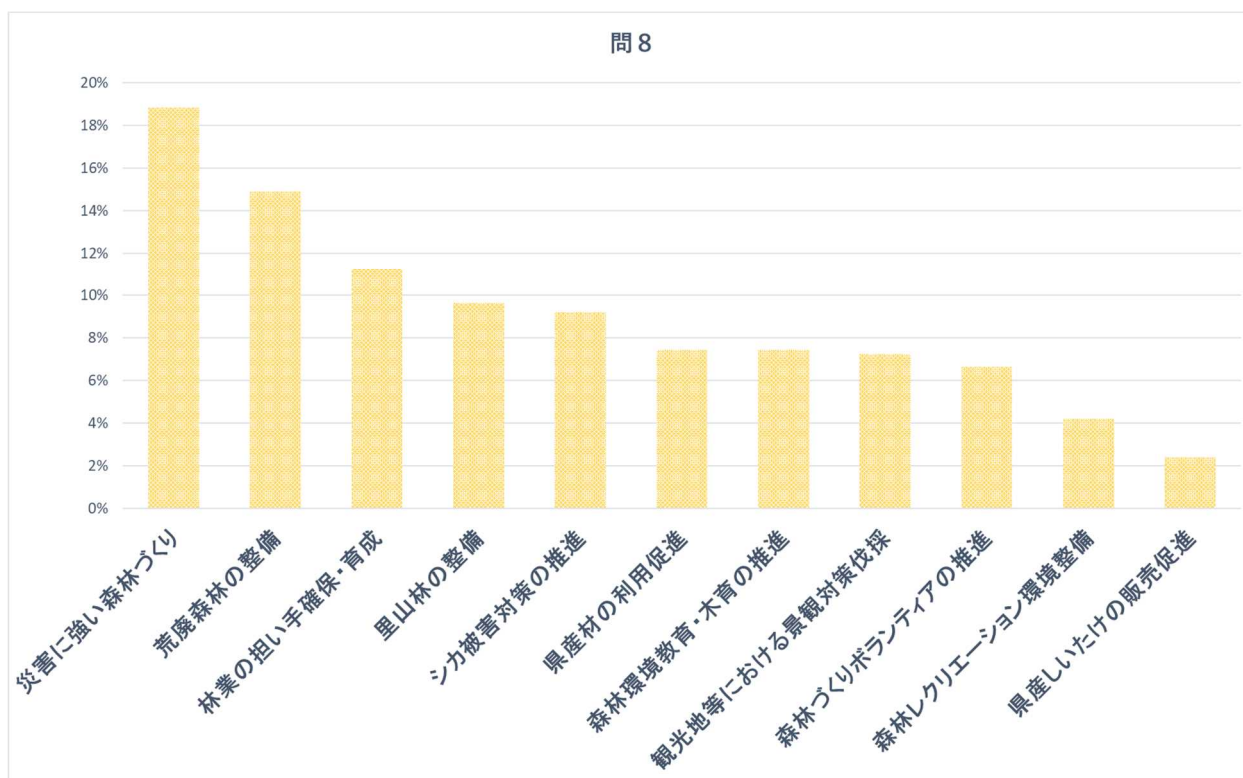


※ 未回答 0件

	大いに賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	計
回答数 (人)	25	28	4	1	8	66
割合 (%)	38	42	6	2	12	100

問8 県森林環境税の使途について、どのような取り組みに重点を置くべきだと思われますか？

(複数回答可)



問9 問8のほか、今後、県森林環境税を活用した方がよいと思う取組があれば記入ください。

#### (**荒廃林整備、災害に強い森林づくり**)

- 竹の有効活用
- 増水した泥水が早くきれいになる川づくり
- 災害などで傷んだ山林（山林災害による被害を含む）被害を少しでも早く修復できる様に活用して頂いて欲しい。
- 伐採後に放置された土地の再造林、河川沿いの流木対策は自然災害が多いので、最重要課題だと思います。そのための予算不足ならば、増税も仕方ないと思う。
- 林道以下の作業道の災害復旧作業。
- 日田市に住んでいる知人が、日田の道を福岡方面に走っていると、福岡に入ったとたんに山の雰囲気が変わると言っていました。大分県は山の管理がきちんとできていることが分かる、と。とはいえ、昨今の異常気象でどんなに手を入れても大災害が起こってしまうことになるような気がする。とにかく災害に強い管理を第一にと願う。
- 森林に設置された太陽光発電所の監視。（環境破壊、土砂災害などの監視、改善命令等）
- 最近大雨などで土砂災害が多いので近隣住民にこんな対策をしていると知らせるとか（もうしてると思うが）
- 魚つき林の整備
- 災害に強い森林づくりを次世代を担う若者や子供達の森林づくりの育成に運用してほしい。
- 今後共、猛暑、多雨が予想される。災害に強い森林造りを！
- 地方の荒廃地への県からの補助金導入での整備促進

#### (**里山林整備**)

- 広葉樹の植樹
- 森林整備等の山への取り組みや施業の試行などは、結果の良し悪しが出るまでにかかなりの年月がかかる。特に造林においては未だ試行錯誤の部分も多いと思われる為、皆伐・間伐段階からも今後の事を考え試行錯誤する必要もあるのではと思うので、狭い範囲の山林でも良いので、現場の意見や考えを試行テストの場を作るのも大事だと考えている。
- 基本的には森林環境に寄与すべきであるが、平野でも自然環境に貢献できれば活用して欲しい。例えば外来種等の駆除をするための経費等に使えないか。
- ③の里山林の整備の関連で、豊後高田市の海岸線「恋叶ロード」において、6～7年前県の事業で（補助金を活用して）、白野～堅来の間を樹木等を伐採して、市民や観光客から喜ばれたが、草や竹、雑木の繁殖が強く、現状では、伐採前より悪くなった所も多くある。このような箇所は5～6年に一度の伐採が定期的に出来ないものか？
- 市・県・国道等の沿線の用材（杉・桧等）伐採に伴う伐採費用の対策

#### (**林産物利活用推進**)

- 間伐材などの燃料資源化
- 昨年、家を建てるときに市のホームページで県産材を使用すると何らかの補助があるという文章を見たが、大手の住宅メーカーでは選択の余地もなかった。使えるものなら…という気持ちもあったが、補助以上に追加料金がかかるのではと思い確認すらできなかった。住宅会社から情報として言い出してくれるともっとちゃんと感心を持てたと思う。家を建てたり増築したりするとき

は個人的に情報を集めますが、建てる側からのアドバイスがあれば一考の価値はあると思う。

- ・間伐材利用の広域連携（国東半島の間伐材を日田の木材発電に利用する）

#### (担い手対策)

- ・林業の担い手確保と育成がとても大切になっていると思う。実際に森林組合にお勤めの方とお話をして、人手不足を言われた。子どもたちの人材育成は未来につながると思った。
- ・特に林業の担い手が肝要と思っている。そのための学園強化及び生徒への助成、就職支援に注力願いたい。

#### (森林ボランティア・森林環境教育)

- ・森林、林業を体験できる企画を作り、希望者に体験してもらう企画。タブレットなどで、学生に案内する。
- ・小学生、中学生など若い人に関心を持ってもらえるように、わかりやすいパンフレットをつくる。
- ・森林環境教育や木育（木材利用に関する教育活動）の推進は子供だけでなく大人にも理解協力が必要。  
自然災害を防ぐには何が必要かを理解して助け合うことの大切さが誰もが知っておくべきこととして再教育出来る場所作りが大切だと常日頃思う。
- ・里山や森林の有効性を、多くの人々に、知らしめる啓蒙活動を、小中高校の学童、生徒のみならず、公民館活動を通じて大人にも実施する。
- ・ボランティアの高齢化の施策の検討 ボランティア団体は超高齢化になっている。持続可能な体制について議論を。

#### (その他)

- ・森林環境税での事業の効果が長期的にどうなのかを数年に一度検証を行う必要があると思う。単年度で良かったといっても元の木阿弥になる事業が多いのではと感じる。  
ある意味それもやむを得ない部分もあるかと思うが、人材の育成・確保などは喫緊の課題で一部では若者の参入などもあるようだがまだまだ不十分だと感じている。  
思い切った取り組みをお願いしたい。
- ・県産品の椎茸生産者への支援。
- ・里山と生活ゾーンの隣接地域に対する保存、保護思想が実現できるような事業助成ができればと思う。
- ・河川の上流・水源地の保護。（中国などの外国企業との土地売買禁止）
- ・森林の相続者への相談役。
- ・当該の用途は、その都度、また確実に明確に県民に公開をして欲しい
- ・大分県の独自の施策が必要だと思う。日本一の椎茸に対する対応が少ないように思う。

問10 その他、県森林環境税についてご意見があればご記入ください。

#### (意見)

- ・水質汚染は、水源地を含む大分県の山林地帯を中国資本に買い占められ、敷き詰められた太陽光パネルによる有害物質漏出による土壌汚染が関係しているのではないかと、という疑念が浮かぶ。森林保全は水の安全性に直結。税制とは別に、美しい大分県の山林の景観を損なうのみならず、有害物質漏出による土壌及び水源の汚染の原因ともなりうるメガソーラー発電施設の設置を規制す



る条例、海外(とくに安全保障上の懸念国である中国)資本による水源地を含む山林の大規模買収を禁止する条例等の対策を早急に立てるべき。

- ・災害に強い森林は、企業の経済活動をおおいに支えている事を、今年の豪雨災害(特に高速道路の土砂流入による通行止め)で改めて実感した。そう考えると、大分県森林環境税の法人の税額は低いのではないかと思う。

また、毎年開催される農業祭で森林に関するブースへ伺い、森林に関する取組等を教えていただいているが、森林環境税は今回初めて知った。税金の用途を知る事は県民にとって大事なので、もっとアピールされても良いと思う。

- ・直接林業とは関係無いかもしれないが、山林の多い山間部の商店さん等、地元への還元もあればと思う。

あと、可能であれば地域ごとに小規模なバイオマス発電や熱源ボイラーなどがあれば、地域内の木材の地産地消も可能なのかなとも思う。

- ・自然が近くにあることを生かして、子供たちに自然に触れてもらう機会を早期に提供するように、県と学校や地域で協力して取り組んでもらいたい。

椎茸栽培の見学を通して森林の現状を学んだり、植樹をしたりといった活動等。

私も身近にそのような体験ができることを知る機会があれば、参加してみたい。

- ・大分県森林環境税は足りているのでしょうか?人材育成と予算不足はこれからの大分県にとって大切な課題だと思う。
- ・大分県ではなく各市町村で対応すべき。理由は各地区で森林の規模、環境が違うから。
- ・森林を所有していても利用する術がありません。そのため先祖代々の山があっても何もできない、ただ所有しているだけになっていると思う。そういう山を管理して利用できるように考えていければと思います。
- ・道路沿いの草木が道路にまではみ出て運転しづらい(カーブの先など見づらい)ことがある。定期的に草木の伐採が行われていると思いますが伐採にあたっての費用は税金が毎年かかっているのを考えるとこのままで大丈夫なのかと心配になる。森林を守りつつ道路にかかる影響を少なくするような取組を考えていただければ。
- ・森林環境税の存在を知らない県民が多い。大分県の森林保全・CO2の吸収源の意識付けを含め、「森林」への関心を深める施策を考えて欲しい。また、パンフ、リーフレットの用途を教えてください。
- ・3億程度の金額ではなかなか使い方がむずかしいと思う。県民の方々に山を守る必要を理解してもらいたいと思います
- ・森林環境税とは直接は関係ないですが、全国的に竹林が繁殖し、どの地域においてもその対策に苦労されていると思うが、この無限にある竹の資源を有効活用は図れないものだろうか。(肥料や飼料への活用、バイオマス燃料の活用)(長所や短所はあるでしょうが)
- ・森林環境税の法人負担分の上限を5~10万円に引きあげても良いのでは?
- ・①森林環境教育の推進を取り組んでほしい  
②森の先生による森林体験や学習会をもっとアピールしてほしい。(次世代をになう子供や県民へ)
- ・放置土地、家屋、山林の県の導入による買い上げ、整備、景観及び環境保全
- ・昨今豪雨災害のたびに、流木が橋げたなどにかかって災害を大きくしている。流木が出ないように、対策がとられないか。(伐採後の処理など)
- ・竹林整備はどの程度の効果があるのか疑問です。整備した竹林を継続的に管理して行かなければ3~4年で元に戻る。(近くにこの事業で伐採を行った竹林があるが、今では元に戻っている。)

- どうしても納得できないのが「緑の募金」です。「緑の募金法」で定められているとは言うものの、森林環境税の導入でその歴史的役割は終わったのではと感じている。官僚等の団体への天下り先となっているのでは？という疑念を抱かざるを得ない。
- 市の環境税事業のほとんどは森林組合に丸投げされているのでは無いか？  
私は椎茸生産者ですが自分にとってのメリットを感じた事がない。  
人から聞く話しによると、今まで手入れの行き届かなかった山林を調査する事に大部分を使っているのではないかと聞いた。  
自分は、それを調査する事に何のメリットがあるのか分からないし、意味があるのか？  
市民は環境税を何に使われて、どういう効果があるのか？分かって無く税金を納めているのでは無いか？  
もっと、費用対効果がある事、将来的に市の環境に役立つ事に使用すべきだと思う。  
もっと使徒について真剣に考えて欲しいし、どのような立場の人間が、どのような時、申請すれば環境税事業に当てはまるのか、周知徹底すべきだと思う。  
なぜ森林組合に任せているのか？森林組合は上記の事を全う出来ているのか？
- 助成に対する施行要綱が現状に即していないように思います。  
(要綱がこのようなので) が指導ではないと思います。  
学習姿勢をもっていただきたいです。
- 私は低いと思うのでちゃんと使うのであれば、もっと高くてもいい。
- 税金を取られる立場からすると高い気がするが、実際はこれくらいの税収では対応できないのではと思う。

#### (PRに関する意見)

- 税金とるんだから、使い方をみんなに充分周知して欲しい
- 詳しく知らない人が多いと思うので、普及活動をする、また、即戦力となる担い手を育成するために取り組んで欲しい。
- どの税金もそうだが、どのように使われているのかわかりやすくして欲しい。
- 大分県森林環境税を知らない人たちがまだいっぱいいると思う。多くの人に何らかの方法（テレビ等で活用している現状を見てもらい）実感して欲しい。
- もっと沢山の人間に協力を仰ぐ告知が必要です。
- 情報発信を増やす必要があると思う
- もっと幅広く税収について説明するべきかと。知らなかったのは自分だけではないと思う。
- PR不足で、周知されていないと感じた。  
もう少し高めでもいいが、税金として徴収するのならば、計画を含めた事前説明と、定期的な経過報告が欠かせないと思う。
- 他県、特に大都会から大分に移民してきた人にも森林環境税の重要性が分かるような啓蒙運動が必要
- 豊かな森と清流が豊かな海をつくる。そうした呼びかけに活用してほしいと思う。
- 大分県の森林環境税についてもっと詳しく知る機会などがあればいいと思う。

#### (その他)

- 子ども達への森林環境教育や木育（木材利用に関する教育活動）の推進はこれからの日本の大切なことと思う。

- パンフレットやチラシを読みました。森林事業は支えている人が高齢になっていること、少子高齢化が背景にあることがあまり見えて来なかった。新設された、新しい地方税で、この金額が将来上がって行くことが推定された。
- 頑張ってください
- 今後、益々山林、森林の荒廃は進んでいくだろうと予想される。この程度の負担でそれが少しでも防げれば今後共取り組みをつづけるべきだと思う。
- 森林を守ることは海の資源を守ることに通ずる。豊かな海産物を育てるために、山林を大切にしたい。